

ステンレス流通加工の本間鋼業

# プレナー加工に再参入

多様な顧客  
ニーズ対応

ステンレス流通加工（間超氏）はV字型の溝の本間鋼業（本社・東を握るプレナー加工 京都墨田区、社長・本に再参入した。4月か

ら浦安加工センター（浦安鉄鋼団地内）に高機能プレナー加工機を1台新設し、受注活動を開始。加工メニューを広げ、多様化する顧客ニーズへの対応力強化につなげる。

同社は曲げや切断などを得意とし、昨年8月からはステンレス鋼



今回導入したアイズ製「XY-VL  
LINE V-GO  
GO-4000」

板やアルミ板、角型鋼管の穴あけ、条鋼と鋼管の切断加工を始めている。プレナー加工機は19年まで保有していたが、当時ファイバレーザ加工機を導入するにあたり工場にスペースを空ける必要があったため撤去した。その後は外注で対応していたが、継続的な需要が見込めるとしてプレナー加工を再度内製化する方向で昨年頃から検討を進め、昨年11～12月に加工機の導入を決断した。

今回導入したのはアイズ（本社・東京都足立区）製「XY-VL  
LINE V-GO  
GO-4000」。

投資額2ミまで。関東で同機を導入したのは本間鋼業が初めてという。本間社長は「加工能力を高め、付加価値を高める取り組みを進めていく」と意気込む。

